

(別紙様式第5号)

6次産業化推進整備事業(農業主導タイプ)点検評価書(令和元年度分)

地方農政局等名
東北農政局

6次産業化法人の名称	設立年月日	代表者名	構成員数
(有)まごころ農場	平成8年1月12日	斎藤 靖彦	2人
主たる事務所の住所	青森県弘前市大字薬師堂字熊本16	TEL FAX	セキュリティに配慮し、非 公開とします。

1 事業の実施状況に対する所見

[取組状況について]

平成23年度に本事業により農畜産物加工施設一式を導入し、トマト及び果実の加工並びに生食用ミニトマトの直売等に取り組んでいる。

売上高の増加の目標について、目標未達成であるが、令和元年度は、生食用ミニトマトの生産調整及び新規にリンゴの加工品に取り組んだことから、全体売上額が増加し、目標比97%の状況であった。

[経営状況、事業による変化等について]

当該事業で整備した加工場によって、農作業がない冬場の雇用が創出され、従業員の年間雇用が可能となり、雇用者の増加の目標を達成した。

2 成果目標の達成状況に対する所見

項目	所見
(所得の向上に関する目標) 売上高の増加	令和元年度は、生食用ミニトマトの生産調整を行い、収量が大幅に増加したこと及び新規にリンゴの加工品に取り組み、生食用のミニトマトと同水準まで売上げが増加したことから、目標比97%の状況であった。今後もこの取組を継続することで、来年度以降の目標達成が見込まれる。
(雇用の創出に関する目標) 雇用者の増加	目標を達成している。
(地域の活性化に関する目標) [耕作放棄地の活用]	目標を達成している。

3 施設等の利用状況についての所見

[農畜産物加工施設の利用状況について]

目標を達成している。

4 6次産業化法人と連携法人の取引状況についての所見

該当なし

5 改善措置等に対する所見及び指導内容

(1) 成果目標について

令和元年度においても、売上高の増加の成果目標が未達成であったが、当該経営体は新たに生食用ミニトマトの生産調整及び新規にリンゴの加工品に取り組んでいることから、全体売上額が増加し、目標比で97%の状況であった。今後もこの取組を継続すれば、来年度以降の目標達成が見込まれることから、引き続き来年度も自己点検報告書の提出を求めることとする。

(2) 施設等の利用状況について

該当なし